



全国釣竿公正取引協議会 第177回理事会 議 事 録

1. 開催日時 令和6年5月30日(木) 12:30~14:00
2. 開催場所 会場: 日本フィッシング会館8階会議室
東京都中央区八丁堀二丁目22番8号

3. 議 事

3-1 定足数確認

理事総数 13名・監事総数 2名

<出席者数 理事 12名・監事 2名>

会 長	藤井 治幸	(株式会社がまかつ)
副 会 長	塩澤 直人	(株式会社天龍)
副 会 長 兼 計 理 専 務 理 事	橋本 俊哉	(株式会社エバーグリーンインターナショナル)
理 事	小松 智昭	(一般社団法人日本釣用品工業会)
理 事	鈴木 隆	(株式会社リチャーズ)
理 事	櫻井 孝行	(櫻井釣漁具株式会社)
理 事	谷山 令一	(谷山商事株式会社)
理 事	宇崎 隆	(株式会社宇崎日新)
理 事	加藤 慶太	(株式会社ジャクソン)
理 事	鈴江 浩康	(グローブライド株式会社)
理 事	高田 務	(株式会社シマノ)
理 事	宮澤 政純	(マルキュー株式会社)
監 事	玉越 和夫	(株式会社スミス)
監 事	姫野 哲司	(株式会社ティムコ)

<委任状出席理事 1名>

理 事 鈴木 健一 (株式会社上州屋)

会則第21条第1項の規定により、過半数の理事が出席しているため、第177回理事会は有効に成立した。

3-2 議長選出

会則第21条第2項の規定により、藤井 治幸 会長が議長に就任した。

3-3 議決権行使及び意見表明方法

出席者は、会場で、理事は議決権を行使、監事は意見表明を行った。

3-4 第176回理事会議事録確認

第1号議案 第40期(令和5年度)事業報告

および第41期(令和6年度)事業計画案について

第2号議案 第40期(令和5年度)収支決算見通し

および第 41 期（令和 6 年度）収支予算（案）について

第 3 号議案 周知広報について

- 1 フィッシングショー出展
- 2 2024 ポスター制作
- 3 2024 広報
- 4 その他

第 4 号議案 その他

- 1 公正マークシール仕入価格改定について
- 2 令和 6 年度 定時総会開催方法について
- 3 その他

第 176 回理事会の詳細は、議事録を確認していただく。

3-5 持ち回り決議 結果の確認

令和 5 年度事業報告及び令和 6 年度事業計画案、令和 6 年度予算案について第 176 回理事会終了後、メールにて持ち回り決議を行った。

資料メール送信日 令和 6 年 4 月 30 日

回答期限 令和 6 年 5 月 13 日

①令和 5 年度事業報告

令和 5 年度事業報告について文書にて確認を行ったところ、承認された。

②令和 6 年度予算案

当期経常増減額をマイナスにしない予算案とマイナス（-60 万円）にする予算案について文書にて確認を行ったところ、当期経常増減額を-60 万円とする予算案が承認された。

③令和 6 年度事業計画案

令和 6 年度事業計画案について文書で確認を行ったところ、承認された。

3-6 第 177 回理事会議事録署名人の選出

会則第 23 条の規定により、藤井 治幸 議長、出席理事より塩澤 直人 副会長、橋本 俊哉 副会長兼会計理事が就任することに同意した。

4. 議 案

第 1 号議案 入会について <承認決議事項>

議長の指名により、事務局が資料に基づき、第 1 号議案の報告を行った。

5 月 14 日付で下記企業より入会の申し込みがあったので、入会について審議をお願いしたい。

社名 株式会社 apd

代表者 代表取締役 新 辰朗 氏

所在地 神奈川県横浜市都筑区桜並木 5-7

質疑応答の後、議長が議場に諮ったところ、第 1 号議案は満場異議なく了承された。

第 2 号議案 第 40 回定時総会 議案確認について <報告事項>

議長の指名により、事務局が資料に基づき、第 2 号議案の報告を行った。

5 月 30 日に開催する第 40 回定時総会の議案については、次の通りとしたい。

- 第1号議案 役員（理事・監事）選任について
- 第2号議案 令和5年度第40期 事業報告について
- 第3号議案 令和5年度第40期 決算報告について
- 第4号議案 令和5年度第40期 監査報告について
- 第5号議案 令和6年度第41期 事業計画（案）について
- 第6号議案 令和6年度第41期 収支予算書（案）について
- 第7号議案 その他（役員選考委員会の設置等）

質疑応答の後、議長が議場に諮ったところ、第2号議案は満場異議なく了承された。

第3号議案 第40期（令和5年度）事業報告

および第41期（令和6年度）事業計画案について <報告事項>

議長の指名により、事務局が資料に基づき、第3号議案の報告を行った。

3-1 庶務事項

-1 会員数 65社

期中入会2社 株式会社エイチ・イー・エル
株式会社グラスルーツ

-2 会議等開催

①定時総会 1回

②理事会 5回

※役員改選のため、臨時理事会を開催した。

③委員会等 3回

3-2 事業の状況

-1 釣竿の表示に関する公正競争規約と施行規則等に関する事業

①総務委員会内に規約検討会を設置し、規約の問題点などの洗い出しを行った。

②長期間申請の無い会員企業へ申請を促した。

③認定書発行件数

新規認定書発行件数 233件

追加認定書発行件数 119件

合計 352件

-2 公正マークの管理に関する事業

① シール頒布枚数

公正マーク 544,000枚

公正マーク警告表示 129,000枚

警告表示 25,500枚

-3 広報・宣伝に関する事業

①公正マークポスターを発行し、会員企業の皆様のご協力で、釣具店、釣り船店、釣宿店、管理釣り場などへ配布と掲示の依頼を行った。

春夏・秋冬それぞれ5,000枚発行した。ポスターモデルは、YouTuber マルコスさんである。

②雑誌広告、業界紙、WEBメディアへの広告出稿

雑誌広告7誌、業界紙3紙、WEBメディア2媒体へ広告を出稿した。

③フィッシングショーでの公正マーク広報

釣りフェスティバル2024 in Yokohama、フィッシングショーOSAKA2024に出展し

た。ブースではポスターモデルをアイキャッチに、公正マークを大きく目立つように展示・紹介した。

④11月30日11:30に会員企業の皆様のHPやSNS等で公正マークを一斉告知していただいた。その結果Xのトレンド入りした。

⑤WEBメディア、フィッシングショーの会場にてアンケートを実施し、回答者に公正マークノベルティグッズをプレゼントした。アンケートの結果については、WEBメディア(TSURI HACK)486件、フィッシングショー(横浜301件、大阪308件)609件の回答があった。

-4 感電事故防止の啓発

①感電注意の動画を釣りシーズンが始まる前にSNS等で紹介した。

②電力会社へ釣竿の感電事故に関する情報提供を行った。

-5 調査指導に関する事業

調査指導委員会による会員対象調査、店頭調査、事務局による繊維含有率検査を実施した。

-6 関係官庁および関連団体との連絡、協調に関する事業

橋本俊哉副会長兼会計理事のこれまでの景品表示行政、業界、当協議会への貢献が評価され、河野太郎消費者担当大臣が橋本副会長を景品表示適正化功績者として表彰を行った。

質疑応答の後、議長が議場に諮ったところ、第3号議案は満場異議なく了承された。

第4号議案 第40期(令和5年度)収支決算

および第41期(令和6年度)収支予算(案)について<報告事項>

議長の指名により、事務局が資料に基づき、第2号議案の説明を行った。

①まずは、3月31日時点の貸借対照表の報告をおこなった。

【貸借対照表 R6.3.31】

流動資産合計	24,932,959円	対前年比	93%
固定資産合計	15,624,526円	対前年比	99%
資産合計	40,557,485円	対前年比	95%
正味財産合計	39,063,074円	対前年比	94%
負債及び正味財産合計	40,557,485円	対前年比	95%

②つづいて、令和5年4月～令和6年の正味財産増減計算書の報告を行った。

【正味財産増減計算書 R5.4.1～R6.3.31】

経常収益計	18,882,349円	対前年比	72%
経常費用計	21,199,241円	対前年比	76%
(事業費計	13,164,163円	対前年比	64%)
(管理費計	8,035,078円	対前年比	108%)
当期経常増減額	-2,316,892円	対前年比	141%
正味財産期末残高	39,063,074円	対前年比	94%

③最後に、令和6年度の収支予算(案)の報告を行った。

【収支予算書 R6.4.1～R7.3.31】

経常収益計	16,685,500円	対前年決算比	88%
経常費用計	17,284,797円	対前年決算比	82%

（事業費計	10,000,000 円	対前年決算比	76%
（管理費計	7,284,797 円	対前年決算比	91%
当期経常増減額	-599,297 円	対前年決算比	26%
正味財産期末残高	38,463,777 円	対前年決算比	98%

質疑応答の後、議長が議場に諮ったところ、第 4 号議案は満場異議なく了承された。

第 5 号議案 第 40 期決算監査報告について <報告事項>

議長の指名により、玉越和夫監事が資料に基づき、第 5 号議案の報告を行った。

令和 6 年 4 月 19 日（金曜日）に提出された令和 5 年度決算報告書（すなわち貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記及び財産目録）を橋本 会計理事立ち合いのもと、玉越 監事及び姫野 監事が監査した。その結果、いずれも適法かつ適正と承認した。

質疑応答の後、議長が議場に諮ったところ、第 5 号議案は満場異議なく了承された。

第 6 号議案 調査指導委員会報告について <報告事項>

議長の指名により、事務局が資料に基づき、第 6 号議案の報告を行った。

会員対象調査の結果につき、一覧表をもとに報告を行った。目立った誤りとしては、使用材料別名称表示（カーボンロッド、グラスロッド、複合ロッド）が表示されていない、元径計測位置表示が表示されていないことが挙げられる。調査結果をもとに、会員企業へフィードバックを行い、改善を促していく。

質疑応答の後、議長が議場に諮ったところ、第 6 号議案は満場異議なく了承された。

第 7 号議案 周知広報について <報告事項>

議長の指名により、事務局が資料に基づき、第 7 号議案の報告を行った。

7-1 2024 ポスターの配布

春夏ポスターについて、会員企業の皆様のご協力により、配布及び掲示の声掛けを行っていただいたことに感謝を申し上げます。

秋冬ポスターについては 10 月上旬までにお送りするので、配布と掲示の声掛けのご協力を賜りたい。

7-2 2025 ポスターの制作スケジュールの確認

①次回 10 月理事会においてポスターモデルを決定する。②12 月理事会にてデザインを決定する。③3 月理事会が下旬なので、持ち回り決議で最終決定とする。

7-3 その他

次回 10 月理事会において、フィッシングショーに関する提案（ブース展示内容、配布物等）を行う。

質疑応答の後、議長が議場に諮ったところ、第 7 号議案は満場異議なく了承された。

第 8 号議案 その他 <承認決議・報告事項>

8-1 会費・商標使用料徴収について <承認決議事項>

収入が減少している中で、新たな収入源の検討を行う。

①現在会費は、一律の基本会費と釣竿の国内向け売上高に応じた比例会費の2種類がある。このうち一律の基本会費を、会員企業の従業員様数などを基準に金額の設定が可能かどうか検討したい。

②公正マークシールについては、自社にて印刷、シール貼付が可能であるが、当協議会からシールを購入している会員企業と、自社にて印刷・シールを製造して貼付している会員企業において負担額が異なる。公平の観点から、自社にて印刷・シールを製造し貼付している会員企業様から商標使用料の徴収を検討したい。

質疑応答の後、議長が議場に諮ったところ、次の通り決議がなされた。

まずは、②公正マークの商標使用料について検討することとし、役員企業において、公正マークが貼付された釣竿の本数を調査し、使用料の試算を行う。この理事会終了後、事務局から役員企業に文書にて本数調査の依頼を行う。

-2 会員・役員表彰について <承認決議事項>

会員・役員表彰については次の通りとする規程を作成したい。

【会員表彰】

会員を10年継続した場合に表彰を行う。表彰は総会で行い、表彰対象の会員企業が総会に出席した場合に限り、表彰を行い、欠席の場合は10年継続して会員企業であったことへの感謝を総会にて発表する。

【役員表彰】

6年継続して役員を務めた場合と役員を退任した際に記念品を添えて表彰を行う。

質疑応答の後、議長が議場に諮ったところ、満場異議なく了承された。

以上をもってすべての議案審議が終了したため、議長は第177回理事会の閉会を宣言した。

令和6年5月30日

上記の議決を確認するため議長及び議事録署名人は次に署名、捺印する。

全国釣竿公正取引協議会 第177回理事会議事録

議長理事 会長 藤井 治幸

藤井 治幸 

議事録署名人 副会長 塩澤 直人

塩澤 直人 

議事録署名人 副会長兼会計理事 橋本 俊哉

橋本 俊哉 

——以下余白——